Vol.15　2022年5月発行

奈良教育大学特別支援教育研究センター
NEWS LETTER

TEL&FAX　0742-27-9314
https://cp-support2.nara-edu.ac.jp/hp/
E-mail：tokubetsu@nara-edu.ac.jp

ごあいさつ

教職大学院　教職開発講座　教授　　中川　貴明

はじめまして。令和4年４月より奈良教育大学教職開発講座に着任いたしました中川貴明（なかがわたかあき）と申します。本学卒業後県内特別支援学校に長年勤務し、県教育委員会、最後に県立二階堂養護学校勤務を経て現在に至っております。教員生活でお出会いした多くの子どもたち、保護者・関係者の皆さんから数多くのことを学ばせていただいた３８年間でした。初任校で初めて受け持った小学部６年Ｈさんとの出逢いは衝撃でした。見る物・聞く音に衝動的に反応、毎日光のごとく教室や廊下を駆け回る…。そんな彼と私を繋いでくれたのは教室のオルガン。♪とんび（採用試験曲：これしか弾けない(笑い）！）を弾き始めると、私に近寄り「ウオー、ウオー」と歓声をあげて跳ねるＨ。このオルガンが二人を結ぶパイプになって…無我夢中の１年がアッという間に過ぎました。彼らから学んだ多くの経験が教員生活の土台になりました。「こんな子どもでも入学させてもらえるんですか？！」新採３年目、体験学習保育担当の私に発せられた参加者の言葉です。その言葉に「ドキッ！」としつつもどのように応えたか思い出せません。しかし、この衝撃的な言葉は今も記憶に残っています。我が子にこのような言葉を発せざるを得なかった当時の母親の心情に直面し、まずは親の思いに寄り添う大切さ、そして就学・修学の意味を真剣に学ぶ重要性を教えていただいたかけがえのない経験でした。やがて、特別支援学校は生徒数が急増、教室不足、教室転用等様々な工夫の繰り返し…。学校統合を経験し、同時にみんなの願いと夢をのせた新設校づくりに取り組み…、その一つ一つが思い出されます。生徒急増に追われる年月を無我夢中で過ごしながらも、子どものことを真ん中において仲間と共に教育実践をすすめた毎日でした。

“子どもの命と人権を守り”、“子どもの発達・成長につながる取組をすすめる”ことが学校の使命であると思います。そのためには、教員の専門性・指導力の向上は欠かせません。教員を目指す学生の皆さん、更なるステップアップを期する先生方の教育力・指導力の向上に向け、微力ながらもこれまでの私の経験から学んだことを語り伝え、共に学びながら皆さんの支えになりたいと思います。よろしくお願いします。

学校教育講座　特任講師　　今泉　祥子

はじめまして、今泉祥子です。この大学の〇年前の卒業生です。卒業後、京都府の特別支援学校の「自立活動」部で自閉症、ASDの子どもたちのコミュニケーション指導を中心に実践をしてきました。特別支援学校のセンター的機能が言われ始めると、支援学校の「地域支援センター」の巡回相談員として、保育園・幼稚園から小学校・中学校・高等学校、大学までの発達障害のある子どもたちや大人の方の指導や支援を学校と協力して行ってきました。今は、退職して、就学前の子どもたちを中心に、宇治市等いろいろなところで発達相談の仕事をしています。今回、ご縁があり、奈良教育大の特別支援教育研究センターで働くことになりました。

生きづらさを抱えている子どもたちが何を思っているのか、発達や自我形成との関りで弱いところがあるのではないか、発達検査で測ることのできるものは何なのか等わからないことがたくさんあります。今後も学び続けながら、働きたいと思っています。

特別支援教育研究センター　スタッフ一覧

センター長：越野 和之（教育学部兼務）
副センター長：全　有耳（小児科医・教職大学院兼務）
センター専任教員：富井 奈菜実（公認心理師）
　　小松 愛（臨床心理士・公認心理師）
相談員：角田 悠至（臨床心理士・公認心理師）
教育学部兼務教員：中西 陽（臨床心理士・公認心理師）
　　今泉 祥子（言語聴覚士・公認心理師）
教職大学院兼務教員：堀田 千絵（公認心理師）
　　中川 貴明
事務員：大久保 直子・大槻 寿子

今年度もよろしくお願いいたします！

令和3年度の取り組み

教育相談・発達相談

相談総数 ※研究協力等を除く	261 件	内訳			
		発達相談	230 件	／教育相談等	31 件

保護者・子ども向けプログラム（のべ人数）

寺子屋（月2回、2クラス）	子ども	50 名	学生スタッフ	41名
夏休み!!宿題おたすけプロジェクト（2日間）	子ども	12名		
	学生	11名	教員	3名
鉄オタ倶楽部（全11回）	子ども	104 名	サポーター	40 名

講座・研修

8/28 「お父さんに聞いてほしい、子どもの発達と子育ての話」（オンライン開催） 講師：全有耳

12/27「愛着障害と発達障害の理解と支援」（オンライン開催） 講師：米澤好史先生
（共催：奈良県教育委員会特別支援教育推進室）

2/26 「ゲーム･ネットの世界から離れられない子どもたち」（オンライン開催） 講師：吉川徹先生

センターからのお知らせ

Facebookにて、イベントのお知らせや活動の様子をアップしています。公開講座や新しい研究事業も準備中ですので、HPと併せてチェックお願いします！

特別支援教育研究センター

Facebook

奈良教育大学鉄オタ倶楽部

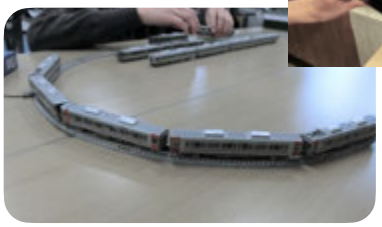
Facebook

令和3年度 活動報告

鉄オタ倶楽部

発達障害または発達に偏りのある子どもたちを対象とした、趣味を通じて人との繋がりを学ぶ鉄オタ倶楽部も始動から4年が経ちました。メンバーの年齢層も徐々に上がり、子ども側からサポーターに転身して年下の子たちを引っ張ってくれるメンバーも出てきました。ありがたい…。

今年度前半の活動では技術科とのコラボ企画が実現し、3Dプリンターでオリジナルグッズを作りました。各々好きな鉄道会社のカラーに塗ったりとこだわりを大事にしながら取り組んでいました。3月の発表会は、過去イチのクオリティで会場、オンライン会場ともに盛り上げてくれました！年々、動画編集スキルが上がっていくのを見るのも楽しいです。



学習支援プログラム「寺子屋」&「夏休み!!宿題おたすけプロジェクト」

学習に困難のある子どもを対象としたプログラムです。いつもは放課後ですが、今年度は寺子屋メンバーで夏休み中の2日間も大学に集まって宿題に取り組みました。学生のサポートも受けながら、それぞれ自分の目標を達成することができました！

学習指導は主に本学学生が行っており、日常生活と結びつけて季節にちなんだ言葉探し、お買い物ごっこでおつりの計算練習など、スタッフとアイデアを出し合いながら個別のニーズに合わせて課題を準備しています。子どもたちは短期集中、ときどきリフレッシュもしつつ、楽しく学習しています。

【お問い合わせ先】
奈良教育大学特別支援教育研究センター
住所：〒630-8528　奈良市高畑町（奈良教育大学高畑キャンパス新館1号棟 1階）
TEL & FAX：0742-27-9314　*火・水・木（祝日を除く）午前10時～午後1時／午後2時～午後4時
メールアドレス（事務）：tokubetsu@nara-edu.ac.jp